

2020年4月24日

青森県
エネルギー総合対策局
原子力立地対策課長
藤田 裕士 殿

リサイクル燃料貯蔵株式会社
取締役副社長
リサイクル燃料備蓄センター長
山崎 克男

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について（報告）

2011年11月21日の青森県知事からの要請に基づく、青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況につきまして、別紙のとおり報告致します。

別紙

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について
(2020年3月末現在)

以上

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について
(2020年3月末現在)

2020年4月

リサイクル燃料貯蔵株式会社

目 次

1. はじめに	1
2. 対応状況	1
(1) 県内原子力事業者間による連携強化	
(2) 訓練の充実・強化	
(3) 自主的な取り組み	
3. 終わりに	3
4. 添付資料	3
・「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (2019年4月～2020年3月)	

1. はじめに

2011年11月21日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の2つの事項に関し、同年12月1日に当社としての対応をご報告致しました。

その後、年度毎に当社としての対応をご報告してきており、この度、2019年度の取り組み状況について、とりまとめましたのでご報告致します。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

2. 対応状況

(1) 県内原子力事業者間による連携強化

当社は、2011年12月9日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動などに係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：2019年10月24日
- ・原子力安全推進作業会：2019年6月24日、9月20日、12月11日、
2020年2月25日

上記会議に基づく具体的な活動については、以下のとおり実施しております。

(添付資料参照)

<平常時における安全管理等に係る協力活動>

●当社主催による講演会

①「核セキュリティを巡る国内外の警備情勢について」(2019年11月21日)

●東北電力株式会社主催による講演会への参加

②「人間工学を活用するにあたって」(2019年11月27日)

③「原子力関連施設を取り巻く最近のテロ情勢」(2020年2月25日)

●日本原燃株式会社主催による講演会への参加

④「医療現場における「気づける力のチーム作り」などチーム医療の実践」
(2019年9月24日)

●その他

⑤新規制基準の対応状況に関する情報共有

⑥原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有

<訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動>

●東北電力株式会社主催訓練への参加

- ①油火災消防訓練への参加（2019年8月1日）
- ②緊急時演習（総合訓練）への参加（2019年11月22日）

●日本原燃株式会社主催訓練への参加

- ③原子力防災訓練（埋設）への参加（2019年10月29日）
- ④原子力防災訓練（再処理）への参加（2020年3月6日）

●その他

- ⑤東北電力株式会社，日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有
- ⑥各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有

県内原子力事業者間による連携強化の活動内容は上記のとおりであり，2020年度以降も引き続き，「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく活動を通して，更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向け取り組んでまいります。

(2) 訓練の充実・強化

当社は，使用済燃料の貯蔵管理に万全を期すため，2019年度は金属キャスクの取り扱いに関する力量の維持・向上と危機管理能力の向上を目的とした以下の訓練を実施しました。

- ① 金属キャスクの取り扱いに関する力量の維持・向上のための訓練
 - ・金属キャスク三次蓋の取り付け訓練（2019年6月6日他，計2回）
 - ・搬送台車取扱訓練（2019年5月15日他，計4回）
- ② 危機管理能力向上のための訓練
 - ・消防訓練（2019年5月30日他，計7回）
 - ・冬期消火訓練（2020年2月6日他，計2回）
 - ・通報連絡訓練（2019年4月27日他，計5回）
 - ・電源喪失時対応訓練（2019年12月9日他，計2回）
 - ・総合防災訓練（2019年5月18日他，計3回）

今後も安全性向上への取り組みに終わりはないという意識のもと，訓練を計画的に実施するとともに，その結果の評価や反省・改善事項等を次回訓練に反映することにより技術・技能の維持・向上に取り組んでまいります。

(3) 自主的な取り組み

自主的な取り組みとして，以下の活動を継続して実施しました。

- ①品質保証活動の充実・強化に向けた品質監査部による業務監査の実施
- ②地震・津波等に関する新知見や研究動向などの情報収集と評価の実施

3. 終わりに

2011年12月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。2020年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に取り組んでまいります。

また、引き続き、青森県からの要請事項に基づく「訓練の充実・強化」や、「自主的な取り組み」を継続し、リサイクル燃料備蓄センターの更なる安全性向上に取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう情報公開に努め、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

4. 添付資料

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(2019年4月～2020年3月)

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(2019年4月～2020年3月)

活動項目	活動内容	備考
平常時における安全管理等に係る協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ●当社主催講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・「核セキュリティをめぐる国内外の警備情勢について」 (2019年11月21日) ●東北電力株式会社主催講演会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「人間工学を活用するにあたって」(2019年11月27日) ・「原子力関連施設を取り巻く最近のテロ情勢」(2020年2月25日) ●日本原燃株式会社主催講演会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「医療現場における「気づける力のチーム作り」などチーム医療の実践」(2019年9月24日) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・新規規制基準の対応状況に関する情報共有 ・原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有 	次年度以降も継続実施
訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ●東北電力株式会社主催訓練への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・油火災消防訓練への参加(2019年8月1日) ・緊急時演習(総合訓練)への参加(2019年11月22日) ●日本原燃株式会社主催訓練への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災訓練(埋設)への参加(2019年10月29日) ・原子力防災訓練(再処理)への参加(2020年3月6日) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・東北電力株式会社, 日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有 ・各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有 	次年度以降も継続実施
とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の活動計画を作成 	本計画に基づき2020年度の活動を実施